

## 利根運河協議会について

利根運河が抱える様々な課題を地域が一体となって解決するため、平成18年に、関係機関が連携し、自然や歴史と調和した美しい運河空間の実現方策をとりまとめた「利根運河エコパーク構想」が作成されました。これにもとづいた取り組みを地域の関係者が連携して実施するために「利根運河協議会」が設立され、自然環境と社会環境の両面から各種対策や活動を展開しています。

■設立：平成18(2006)年11月21日

■構成員：(H30年度末時点)

### 【学識者】

- 東京理科大学理工学部土木工学科 名誉教授：内山 久雄(委員長)
- 埼玉大学大学院理工学研究科 教授：浅枝 隆(社会環境部会座長)
- 東邦大学理学部 教授：長谷川 雅美(自然環境部会座長)
- 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 評議員：葉山 嘉一
- 東京理科大学理工学部 教授：二瓶 泰雄

### 【市民団体・民間企業】

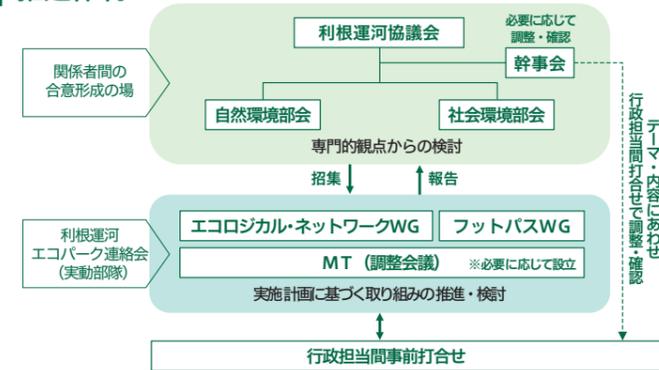
- かしわ環境ステーション
- 野田自然保護連合会
- 江戸川の自然環境を考える会
- NPOさとやま
- 利根運河の生態系を守る会
- 東武鉄道
- 利根運河水と緑21研究会
- 東京理科大学
- みどりのふるさとづくり実行委員会

### 【行政機関】

- 野田市 ●柏市 ●流山市
- 千葉県 県土整備部
- 千葉県 東葛飾土木事務所
- 千葉県 柏土木事務所
- 国土交通省 関東地方整備局
- 国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

■事務局：国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所 調査課

## 推進体制



## 「利根運河エコパーク構想」実現イメージ



ここは、かつて蒸気船の通り道でした  
**利根運河**

夏の運河水辺公園(2014.8)

## 取り組みのあゆみ



利根運河協議会では地域のみなさんとともに、良好な自然環境の保全や、にぎわいづくりに取り組んでいます。今後も地域のみなさまのご意見を取り入れながら、利根運河の貴重な生き物や環境を保全するための活動を続けていきます。

### 【お問い合わせ先】

利根運河協議会事務局：国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所 調査課  
電話：04-7125-7317(調査課直通) メール：edogaa68@mlit.go.jp

# 利根運河 エコパーク 宣言

TONEUNGA  
ECO PARK  
DECLARATION

2019.3

10年間の成果と今後の地域づくりに向けた展望

わたしたちは、  
かつての蒸気船の通り道を  
自然と歴史と人とを結ぶ道として  
将来にわたってつなげていきます。

# 利根運河協議会の10年の取り組み成果と今後の地域づくりに向けた展望

利根運河は、利根川と江戸川を結び、千葉県野田市、柏市、流山市の3市にまたがって流れる一級河川です。利根川と江戸川を結ぶ船の道として明治23年に開削され、以降約50年にわたり関東水運の要を担いました。運河の役目を終えた現在では周辺の豊かな自然環境を育む、貴重な産業遺産となっています。

この貴重な地域資源を守り、自然や歴史と調和した美しい運河空間を実現するため、利根運河に関わる行政や民間団体、有識者からなる「利根運河協議会」（平成19年度設立）が、地域住民等と連携して様々な取り組みを展開しています。

ここでは、10年にわたる利根運河協議会の取り組み成果と、次の段階に向けたビジョンを「利根運河エコパーク宣言」としてとりまとめます。



## 「しくみ」づくり

利根運河エコパークを実現するための体制の構築

- 利根運河を軸に、行政や地域活動団体などの関係者が連携や情報共有しながら取り組みを推進する土台ができました。
- 協議会関係者だけでなく、周辺の民間企業とも連携し、取り組みを推進しました。



▲ 会議の様子



▲ 企業連携の一例  
（JAちば東葛アンテナショップ「daichij」での広報）

連携を行った企業等

- ・東京理科大学
- ・(株)アマダミヤチ 野田事業所
- ・東武鉄道
- ・JAちば東葛
- ・野田芽吹学園

## 主な成果 利根運河周辺企業と連携した活動の実施

▶▶▶▶▶  
 今後は協議会の取り組みを含め、地域の活動が将来にわたり持続していくための仕組みを検討していきます。

## 取り組みを進める3つの視点



## 「場」づくり

良好な利根運河環境の整備

- 利根運河の堤防には、約500種の植物が生育し、地域住民にも親しまれています。これを地域住民の手で保全する取り組みを続けています。

## 主な成果 特定外来生物アレチウリ⇒対策当初の約5%に減少

- 運河と周辺谷津間の生態系ネットワーク形成を目指し、地域関係者とともに検討や対策を実施しています。周辺谷津のうち、東京理科大学理窓会記念自然公園では、東京理科大学関係者の主体的な取り組みにより、湿地再生（池や水田型湿地造成）が実現しました。また、これにあわせて再生湿地に注ぐ樋管に魚道を整備しました。

## 主な成果 湿地再生の取り組みが新たに始動

- 地域固有の自然資源・歴史資源が、良好な景観を形成しています。これを守るための検討を続けています。

▶▶▶▶▶  
 今後もこれまでの成果を活かして、活動場所等の拡大を行いながら、貴重な地域資源を保全する取り組みを続けていきます。



▲ アレチウリ除去活動



▲ 大学主体の湿地再生の取り組み



▲ 合同モニタリング調査



▲ 樋管落差部の魚道整備

# 利根運河沿川3市における取り組み

沿川自治体では、谷津環境保全やにぎわいづくりなど、様々な取り組みが展開されています。

## 野田市

- コウノトリをシンボルとした「自然と共生する持続可能な地域づくり」を目指し、利根運河に隣接する江川地区をモデル地区として取り組みを展開。
- 江川地区が環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定（H27.12）
- また、H28年に発足した「野田市コウノトリボランティアの会」が、このとりの里（江川地区のコウノトリ飼育・観察施設）でのガイドや、放鳥個体の見守り活動を実施している。

## 『コウノトリをシンボルとした自然再生』



▲ このとりの里

## 流山市

- 運河水辺公園でのイベント（朝市）など、観光振興の推進。
- 「生物多様性なぐれやま戦略」において利根運河周辺を重点地区として取り組みを推進。

## 『にぎわい創出と生物多様性保全』



▲ 生物多様性なぐれやま戦略

▲ うんがいい朝市

## 柏市

- 「柏市谷津田保全要領」に基づき、土地所有者との保全協定締結を進める。
- 上記に関連し、大青田湿地において谷津環境の保全・再生に向けた意見交換等がはじめられた。

## 『利根運河隣接谷津の保全』



▲ 柏市谷津保全指針

▲ 現地意見交換

## 「しかけ」づくり

利根運河エコパークをいかに戦略の展開

- 豊かな自然環境、谷津地形や水運の歴史など、地域資源の魅力を整理し、それを活かしてにぎわいある地域づくりにつなげるための手法を検討しました。
- 地域資源を楽しむウォーキングイベントの開催、様々な媒体・手法による広報の展開などにより、多くの人に利根運河の魅力を発信しました。

## 主な成果 東京など、利根運河周辺地域外からの参加者を獲得



▲ 広報資料の作成

▶▶▶▶▶  
 今後は、より多くの人に利根運河の魅力を知ってもらい、使ってもらうことにより、地域資源の価値を高めていきます。



▲ 自然や歴史をテーマにしたウォーキングイベントの開催